

『東海・東南海・南海』三連動地震 津波避難対策の概要

徳島県 海陽町

水 床 湾(海陽町穴喰浦)

海陽町の概要

◆徳島県最南端

◆平成18年3月31日 旧海南町、
旧海部町、旧穴喰町が合併し、
「海陽町」となる。

【人口・世帯数】（H24年3月末現在）

10,748人、4,711世帯

【面積】327.58km²

【主要河川】海部川、穴喰川

【海岸】リアス式海岸

【主要道路】国道55号、国道193号

【鉄道】JR牟岐線、阿佐海岸鉄道



海陽町の津波災害

海陽町の津波災害

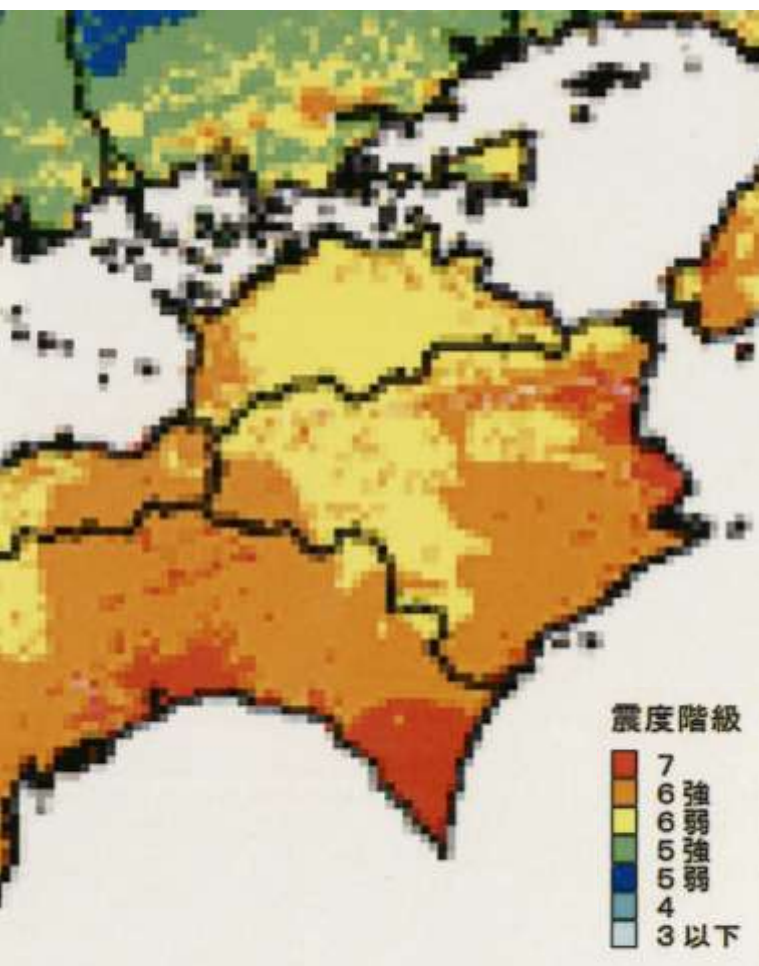
津波の名称	年月日
永正の津波	1512年 9月13日
慶長の津波	1605年 2月 3日
宝永の津波	1707年10月28日
安政の津波	1854年12月24日
南海地震津波	1946年12月21日



「南海トラフの巨大地震モデル検討会」震度分布・津波高(第一報告)

最大クラスの震度分布図

最大震度 **7**

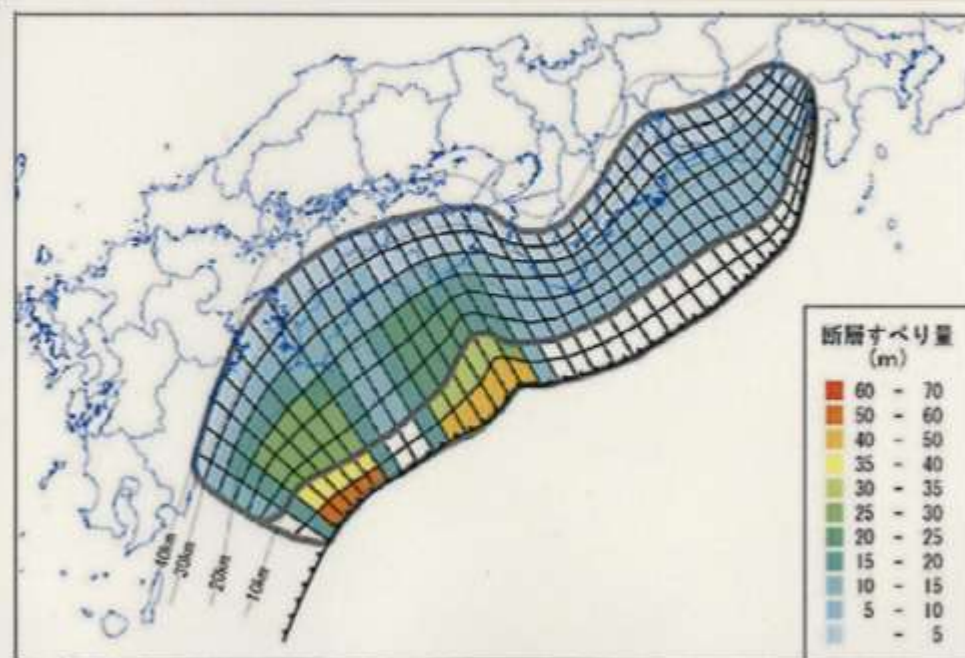


最大津波高(満潮位・地殻変動考慮)

最大津波高 **20.3m**

津波高1mの海岸に
おける到達時間 **10分以内**

南海トラフ(2012)の波源モデル ケース⑪
海陽町で最大となるモデル



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

海陽町の地震・津波防災の現状②

公立学校の耐震化

学校名	年度
海南小学校	H22年度 竣工
海部小学校	H22年度 竣工
穴喰小学校	(新耐震基準適合)
海陽中学校	H22年度 竣工
穴喰中学校	H21年度 竣工
県立海部高等学校	H17年度 竣工

橋梁の耐震化

橋梁名	年度
海南地区	
西橋	H18年度 竣工
元橋	H20年度 竣工
地神橋	H21年度 竣工
浅川橋	H24年度 着工
穴喰地区	
芥附橋	H18年度 竣工
落合2号橋	H20年度 竣工
落合橋	H22年度 竣工
竹ヶ島橋	H24年度 着工



津波防潮堤の整備（県事業）

名 称	年度
浅川津波防波堤 防潮堤耐震補強工事	H18年度 竣工 H18年度～

急傾斜への避難路整備（県事業）

地域の名称	箇所数
海南地区	3力所（予定）
海部地区	3力所（予定）
穴喰地区	2力所（予定）
計	8力所（予定）

海陽町の地震・津波防災の現状③

木造住宅耐震診断

自己負担 3,000円

※共同住宅の場合は6,000円

木造住宅耐震改修補助

町の耐震診断で「倒壊する可能性が高い（評点0.7未満）」と診断された住宅を「一応倒壊しない（評点1.0以上）」に改修する工事の費用を補助

補助率 3分の2以下 ※上限60万円

耐震診断・耐震改修補助金の実績

年度	診断戸数	改修戸数
H16年度	28	0
H17年度	38	3
H18年度	20	4
H19年度	23	4
H20年度	27	5
H21年度	39	2
H22年度	32	7
H23年度	28	2
計	235	27

海陽町の取り組み(3.11以降)①

津波避難場所（路）の整備

年度	数 量
H23	7カ所（うち新設3カ所）
H24	7カ所（予定）

備蓄倉庫の整備

年度	数 量
H23	5カ所
H24	5カ所（予定）

【備蓄品】

毛布 20	トイレ 5
ハロゲンライト 1	ガソリン携行缶 1
クイック Tent 1	発電機 1



防災表示板の整備

年度	数 量
H23	海拔表示 59カ所 津波避難場所表示板 26カ所
H24	海拔表示 60カ所（予定） 津波避難場所表示板 30カ所（予定）



海陽町の取り組み(3.11以降)②

自主防災会活動支援

平成22年4月、海陽町の自主防災組織率は100%となっている。
本町では自主防災会の活動を支援する取り組みを行なっている。

- ・ 自主防災会会議等への職員派遣
- ・ 防災マップ等の策定支援 など



自主防災会が策定した防災マップ

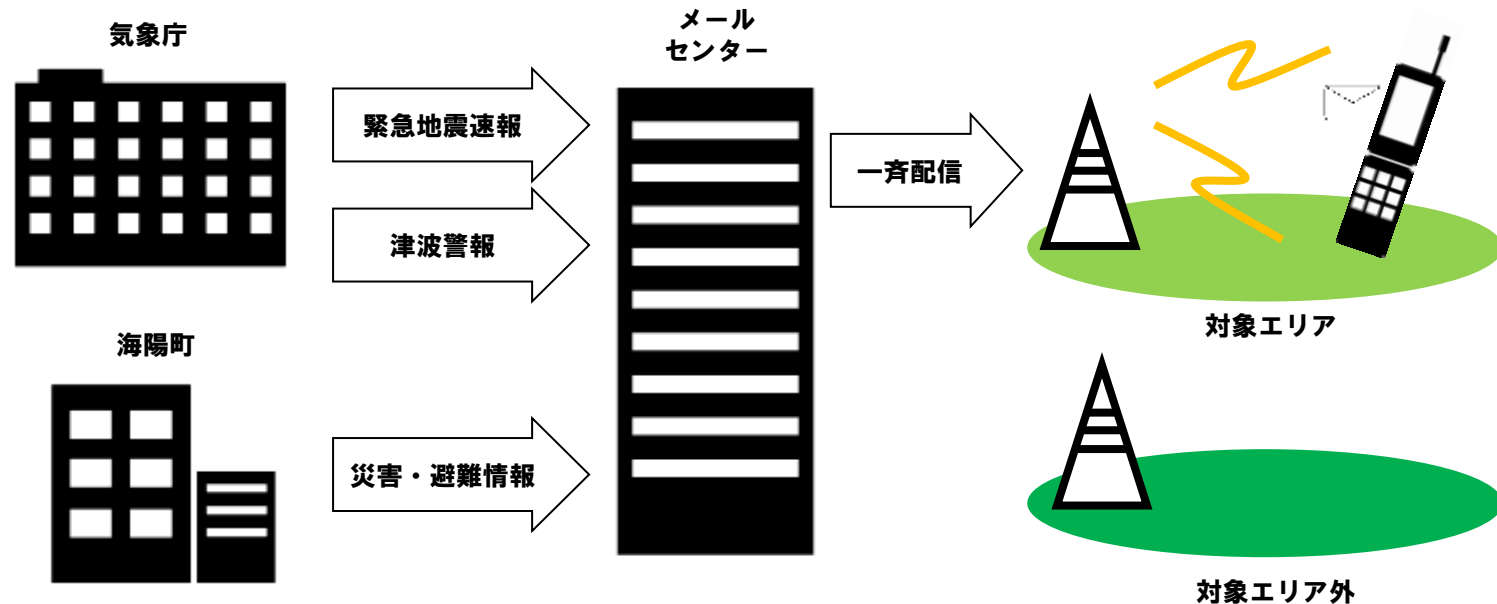


自主防災会の避難場所巡視

海陽町の取り組み(3.11以降)③

災害・避難情報の配信

緊急速報のイメージ



緊急地震速報

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺エリアの携帯電話に一斉にお知らせするサービスです。

津波警報

緊急速報メール「津波警報」とは、気象庁が配信する津波警報を、対象沿岸地域を含むエリアに一斉にお知らせするサービスです。

災害・避難情報

災害・避難情報とは、国や地方公共団体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、特定エリアの携帯電話に一斉にお知らせするサービスです。

docomo H24.2.1開始

au H24.6.1開始

海陽町の防災拠点(まぜのおか)①



蛇王運動公園(海陽町浅川)

海陽町の防災拠点(まぜのおか)②



徳島県立南部防災館(海陽町浅川)

海陽町の防災拠点(まぜのおか)③



情報機器室

【災害時】災害時の重要な連絡手段として、徳島県総合情報通信ネットワークシステムによる防災行政無線関係機器を設置して、災害時の情報伝達に活用します。



災害対策活動室

多目的ホール

【災害時】大規模災害時に県外から駆けつけてくる災害対策応援委員の現地指揮隊等が災害対策活動計画を立案・推進・調整等の執務を行います。



多目的ルーム

【災害時】県外からの災害対策応援委員や地元警察・消防・ライフライン・行政等の防災関係機関が応急復旧などの現地災害対策活動会議を開催し、各機関が情報を共有しながら連携して災害対策を計画的・効率的に進めます。



備蓄・集配室



平常時より資機材や備蓄品を保管しており、災害時には応急物資の荷動きや集配を行います。

体験コーナー



水消火器と訓練マトを使用した疑似消火体験

給湯・炊飯室



災害対策委員のための炊き出しなどを行う給湯・炊飯室



機械室

災害時に上水の供給が停止した時の受水槽設備

電気室



災害時に電力の供給が停止した時の自家発電設備



玄関ホール・展示コーナー

パネルや映像、展示グッズ等による防災啓発



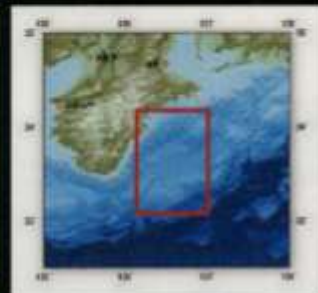


防災・減災のために

—地震・津波観測監視システムによる高精度地殻活動観測—



拡張用分岐装置



基幹ケーブル



DONETの4つの特徴

- (1) 冗長性
- (2) 拡張性
- (3) 置換機能
- (4) 保守の効率化



地動センサシステム:
強震計、広帯域地震計



圧力センサシステム: 水圧計、
微差圧計、ハイドロフォン、温度計



海底で設置作業を行うROV